
砂時計

乃舞

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

砂時計

【Nコード】

N2595R

【作者名】

乃舞

【あらすじ】

自虐的な私と狂愛者のカズ。お互いが愛し合うには、なにかも違い過ぎていたはずなのに…。傷を舐め合い、慰め、そして、また傷つけ…。そんな繰り返しの日々が狂い咲く。

はじめて出会ったあの日から動き始めた時計は、デジタルでもアナログでもなく、そう、いつかはまた戻ってくる砂時計に近かった。

0分

『君は…僕の為に生きてるだろ』

ふと、そんな事を言うカズの顔が浮かんだ。

懐かしく砂時計なんかひっくり返したからだろうか。

え…あつ。

パン。

割れた音と息を呑んだの、

どちらが早かったか。

そんなの分からなかった。

砂時計が割れた。

フロアリングにキラキラと硝子と砂が混ざり合って、光っている。

ただそれだけが、過ぎた時間をもう戻せない事を感じさせた。

自分とカズ。

お互いに依存していたのに、

今更離れるなんて無理だ…。

不可能。

「いつつ…。」

時間とお互いがばらばらになった気がして慌てて素手でかき集める。

指先が切れ、赤い血が滲んだ。

構わなかった。

カズとの時間がなくならないなら。

構わなかった。

自分がカズの為に傷つく事くらい。

ただそれだけ、

カズを愛して依存していたから。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2595r/>

砂時計

2011年10月9日21時04分発行